

# 議会

## - 第4回定例会 -

12月13日に招集された第4回定例町議会は、16日、全日程を終えて閉会しました。定例会では、町長、教育長の行政報告のほか、補正予算などが審議されました。町長と教育長の行政報告(抜粋)についてお知らせします。

### 町長行政報告

#### 1 台風9号による公共土木施設災害復旧事業の査定結果について

11月14日から18日まで、国土交通省北海道開発局と財務省北海道財務局立ち会いのもと、河川災害申請箇所数28箇所、申請額3億781万1千円、道路災害申請箇所数10箇所、申請額1億273万8千円、合計38箇所、申請額4億105万4千9百99円、査定を終えており、決定額は4億486万4千4百4円、査定率は98・62％という結果になりました。復旧工事は、年度内完成、あるいは繰越明許費などにより、早期完成を目指しているところですが、道路通行不能区間は繰越明許費により来年3月上旬に発注を予定し、7月頃を目途に開通させたいと考えているところで、今しばらく不便をお掛けすることとなりますが、ご理解を賜りたいと存じます。

#### 2 台風10号による流木処理について

北海道太平洋側を台風10号が通過したこと

により、本町地区海岸には高波が間断なく押し寄せ、防波堤を乗り越えた高波が多く、流木を打ち上げる流木被害をもたらしました。打ち上げられた流木は、台風の再来によるさらなる押し上げ被害が懸念されたことから、台風通過後、集積作業を即座に実施し、9月3日に作業を終えております。打ち上げられた流木の総量は、10トトラック20台分に及び、海岸取付け道路東端の町有地内に一時仮置きをした後、流木などの回収処理を行なう、ひだか南森林組合の協力により、流木の一部回収処理を10月4日から13日まで行ったところでございます。当森林組合による回収が不能であった流木については、町内回収業者による回収処理を行ない、10月29日全ての流木処理を終えているところでございます。

#### 3 高江地区排水樋管の管理について

8月22日から23日にかけての台風9号による災害発生時に、町の樋管管理が原因で放牧地が冠水する被害を受けたことから、被災農家から損害賠償請求の意思が示されたところでございます。その後、11月7日付けにて、被災農家が依頼した弁護士から町に対し、弁護士が代理人となり対応することになる受任通知が送付されてきました。それを受けて町は、11月8日に町村会顧問弁護士に対し、正式に本件の解決を依頼する意思を伝え、11月9日付けにて、委任契約を締結しております。

今後は、双方の弁護士が法律に照らし合わせながら損害賠償請求額などの精査をし、本件の決着を目指して行くことになるかと考えておりますが、被災農家に対しては、できるだけ速やかに、誠実に対応して参りたいと考えているところでございます。

#### 8 平成28年給付金事業の支給結果

今年度の実施に当たっては、臨時福祉給付金は3千円、低所得の高齢者向けの給付金及び低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金は、それぞれ3万円の支給額をもって実施されました。

支給結果ですが、臨時福祉給付金は支給対象者1228人に対し、1124人の方が支給を受け、支給総額337万2千円、支給率91・5％となりました。低所得の高齢者向けの給付金は、支給対象者717人に対し、708人の方が支給を受け、支給総額

### 平成28年度一次産業の概況

農産部門					
品名	区分	単位	平成27年度	平成28年度	前年対比
水稲	収量	kg	666,750	574,200	△92,550
	販売金額	円	125,901,406	119,872,924	△6,028,482
そ菜計	販売金額	円/kg	188.8	208.8	20.0
	販売金額	円	747,668,389	775,844,415	28,176,026
そ菜の内ピーマン	収量	kg	1,603,274	1,811,673	208,399
	販売金額	円	635,814,144	664,287,620	28,473,476
	販売単価	円/kg	396.6	366.7	△29.9
畜産部門					
品種別	区分	単位	平成27年度	平成28年度	前年対比
サラブレッド	売却頭数	頭	247	247	0
	売却額	千円	1,109,840	1,397,736	287,896
	1頭当平均売却額	千円	4,493	5,659	1,166
	売却率	%	61.0	62.5	1.5
水産部門					
品名	区分	単位	平成27年度	平成28年度	前年対比
生産乳量・乳代	乳量	t	8,317	8,013	△304
	乳代	千円	728,199	716,179	△12,020
肉用牛関係(黒毛和牛・交雑種)	売却頭数	頭	1,721	1,167	△554
	売却額	千円	986,453	977,583	△8,870
水産部門					
魚種	区分	単位	平成27年度	平成28年度	前年対比
秋さけ	数量	kg	694,243	430,571	△263,672
	金額	円	353,138,611	300,305,680	△52,832,931
	kg当単価	円/kg	509	697	188
たこ	数量	kg	100,650	124,325	23,675
	金額	円	48,889,280	55,911,227	7,021,947
	kg当単価	円/kg	486	450	△36
こんぶ	数量	kg	9,479	980	△8,499
	金額	円	10,923,633	1,081,486	△9,842,147
	kg当単価	円/kg	1,152	1,104	△48

#### 4 J R日高線の復旧に向けた取り組みなど

「J R日高線自治体協議会」の第6回目となる会議が、去る11月7日に開催され、J R日高線を持続的に維持するための費用負担などについて、J R北海道から正式に提案のあった、沿線自治体の費用負担13億4千万円または、上下分離方式について、協議会前に各町の考えを確認したところ、各町とも同様の考え方でありましたので私が代表して、費用負担については、厳しい財政状況の下で将来にわたって多額の金額を負担し続けることはできないこと。また、上下分離方式についても、線区が長く老朽化している施設を保有し維持することはできない旨を正式に回答いたしました。

#### 5 日高自動車道「厚賀静内道路」について

厚賀静内道路は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化や国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港などへの物流効率化などの支援を目的に、厚賀インターチェンジ(仮称)から静内インターチェンジ(仮称)に至る15kmの区間で、設計速度80km/h、道路幅員13.5m完成2車線となっております。事業の進捗状況ですが、平成25年度から新厚別川橋下部工事などが着工され、その後大狩部橋下部工事、節婦川橋下部工事などが順次着工し、本年10月1日には大狩部トンネル工事が発注となり、工期は平成33年3月までの4年半というところでございます。

なお、本工事については長期間に及び、かつ多数の工事関係者が当町に滞在することになるということでありますので、町内経済の活性化に寄与してもらいたいという考えのもと

#### 10 平成28年度一次産業の概況について

別表のとおり。

#### 1 教育委員の活動について

10月6日、日高町において開催された「日高管内コミュニティ・スクール研修会」に参加し、10月28日には、教育委員研修として発達支援センター「あおぞら」、節婦ほろしりの里を訪れ研修しております。

#### 2 学校教育の推進について

「総合教育会議」に出席しております。就学援助事業に係る新入学用品について、教育委員会において協議いたしました。入学前に支給できるよう予算計上させていただきました。

#### 4 社会教育の推進について

本年度は、交流先であります沖縄県金武町中川区子ども会の北海道研修の年でございます。1月7日から8日の日程で、引率を含め総勢33名の研修団の来町が決まっております。

## 教育長行政報告

本年度4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査については、学力テストの結果については、右肩上がりで上昇していた傾向から、本年度については下降する結果となりました。教育委員会ではこの結果を重く受け止め、学校改善プランを改訂、長期休業中の補充学習の実施を各学校で行うよう指導し、新冠町こども塾の開設、全国学力・学習状況調査結果保護者説明会の開催を行いました。

11月16日新冠小学校において「新冠小学校実践発表会」24日には朝日小学校において「朝日小学校教育実践発表会」として連携・交流区を模索していたところ、文京区では、明治時代ゆかりの文豪である夏目漱石や樋口一葉などを縁とした都市との交流、区内の19大学との連携など、歴史・伝統・文化に育まれた区として、文の京として町づくりを推進していることを知り、町長会議で検討の結果、文京区に連携・交流を打診することとなり、結果として「朝日小学校教育実践発表会」として、管内規模の公開研究会を実施しております。



こども園のミニミニ運動会